

経済学部 75 周年 K-mics シンポジウム

「日本の財政・社会保障はどうなる？おとな世代×若者世代」

関東学院大学（本部：横浜市金沢区 学長：小山厳也）は、横浜・関内キャンパスにて経済学部主催の K-mics シンポジウムを開催します。異次元の少子化・高齢化が進行するなかで、日本の経済社会の未来を見据え、財政・社会保障の問題について、現在の「おとな世代」と今後を担う「若者世代」がともに考え、ともに共有する将来のあり方を議論します。

基調講演として、水田 豊氏（内閣府大臣官房審議官（経済社会システム担当））をお招きし、「日本の経済・財政・社会保障の現状と長期展望」と題して、経済社会のいまと将来についてお話いただいたのち、若者世代の代表として経済学部 K-mics サポーターの 4 名の学生が、経済学部教授の島澤 諭らとともに財政・社会保障を考え、議論します。

開催概要

- 主 催：関東学院大学経済学部・経済学部 K-mics 委員会
- 後 援：内閣府、横浜市、燦葉会経済経営学部部会、関東学院大学総合研究推進機構、
関東学院大学社会連携センター
- 日 時：2025年3月8日（土）13:00～15:00（開場 12:30）
- 会 場：関東学院大学 横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール（横浜市中区万代町 1-1-1）
- テ ー マ：「日本の財政・社会保障はどうなる？おとな世代×若者世代」
- プログラム：基調講演「日本の経済・財政・社会保障の現状と長期展望」
おとな世代と若者世代セッション ① 財政・社会保障と世代間格差
② おとな世代と若者世代による将来への議論
- 申込方法：Peatix よりお申込みください。（<https://peatix.com/event/4244185>）

[お申込みはこちら](#)



登壇者略歴

水田 豊（みづた ゆたか）：内閣府大臣官房審議官（経済社会システム担当）

1996年東京大学経済学部卒業後、経済企画庁（現内閣府）に入庁。2003年 London School Economics 修士号取得。日本貿易振興機構（ジェトロ）ニューヨーク・センター所員、財政健全化に向けた枠組み、日本の経済財政の現状を分析する内閣府参事官、内閣府人事課長等を経て 2024年9月から内閣府計量分析室長。

島澤 諭（しまさわ まなぶ）：関東学院大学経済学部教授

1994年東京大学経済学部卒業後、経済企画庁（現内閣府）に入庁、秋田大学等を経て、2022年4月より関東学院大学経済学部教授。日本の経済・財政、世代間格差、シルバー・デモクラシーに関する分析を専門とする。各種メディアへの取材に多数協力。

K-mics サポーター

平間 怜音（仙台育英学園高等学校卒業）、佐藤 萌香（山形県立新庄南高等学校卒業）、
村谷 野乃花（神奈川県立金井高校卒業）、佐々木 遥也（横浜市立横浜商業高等学校卒業）

お申込みに関するお問い合わせ

関東学院大学学部庶務課（国際文化学部、社会学部、経済学部）

TEL:045-786-7056 gakusho11@kanto-gakuin.ac.jp

関東学院大学 概要

1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の 11 学部を設置する総合大学。

学生数 10,968 名（2024年5月現在） 学長 こやま よしなり 小山 厳也

取材等に関するお問合せ先

関東学院大学 広報課 丸山 のどか
TEL:045-786-7049
kouhou@kanto-gakuin.ac.jp
横浜市金沢区六浦東1-50-1